

市の財政状況をお知らせします

財政の健全化が緊急課題

■歳入

歳入全体では、前年度と比べて7億6、371万円（5・1％）の減少となっています。市民の皆さんに納めていただいた市税は、2億3、402万円（5・3％）の増収となっており、なかでも税源移譲に伴い、個人市民税が3億8、435万円（31・7％）の増収となっています。

国から標準的な行政水準を保つために交付される地方交付税は、交付総額の圧縮により2億6、022万円（5・7％）の減少となっています。国において地方交付税は引き続き抑制傾向にあり、今後も財政運営に大きな影響を及ぼすと考えています。また、市債は、公債費負担適正化計画に沿って、投資的事業の計画を見直すことで発行総額を大きく抑制

したため、9億8、378万円（47・4％）の減少となっています。そのほか主なものに国庫支出金・県支出金などがあり、前ページ上の円グラフはこれらのあらましを示したものです。

歳出全体では、前年度と比べて8億2、226万円（5・7％）の減少となっています。福祉のための経費である民生費が全体の26・2％と最も多く、次いで市債の返済経費である公債費が14・1％、地域振興や庁舎管理などに使われる総務費が12・3％、ごみ処理や健康づくり対策などの経費である衛生費が11・0％などとなっています。

市民一人当たりに使われた額
34万1,389円

H20.4.1 現在人口 39,978人

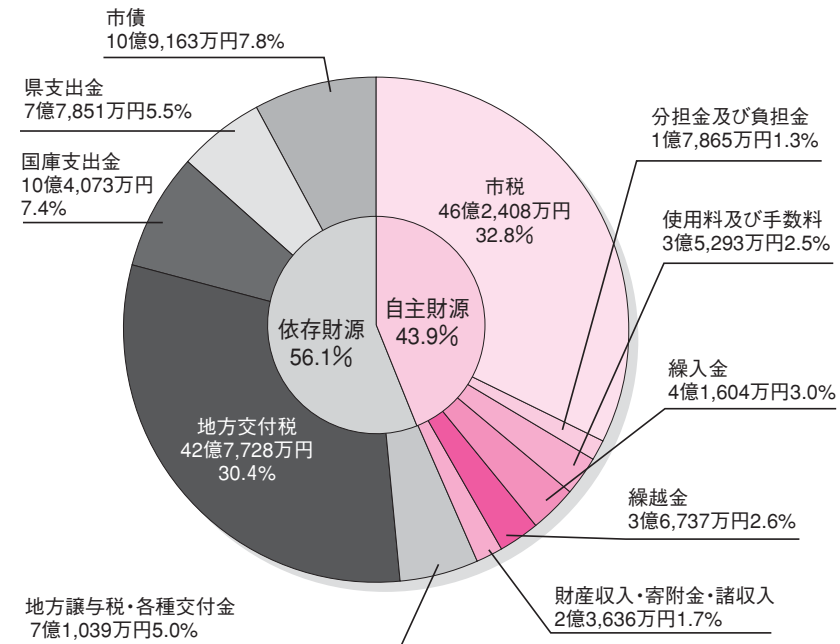


平成19年度の会計別決算

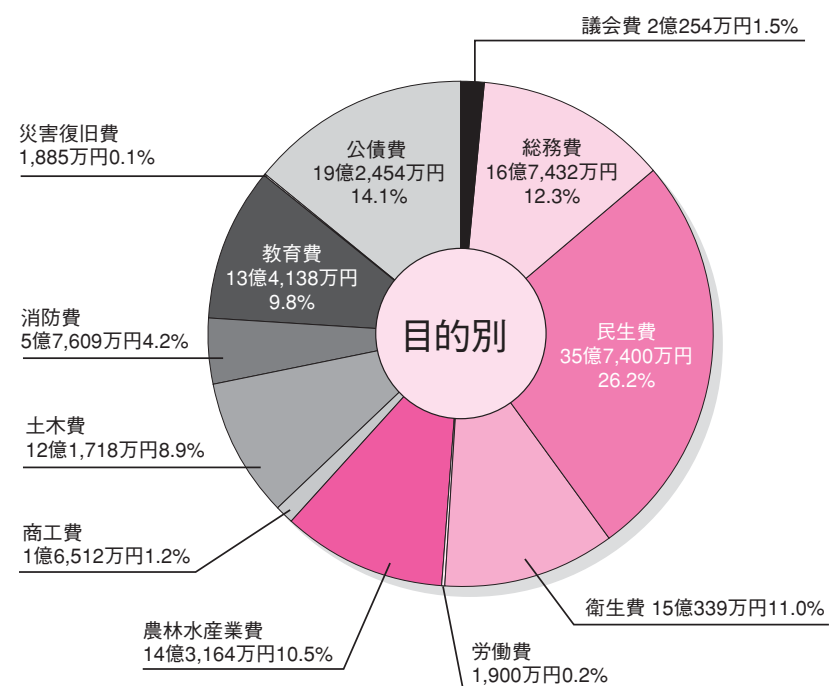
	(単位 万円)			
	歳入	歳出	差引	
一般会計	1,405,147	1,362,568	42,579	
特別会計	国民健康保険	405,634	402,498	3,136
	裳掛診療所	3,439	3,410	29
	美和診療所	2,097	2,077	20
	介護保険	303,441	289,445	13,996
	老人保健	462,062	467,573	△5,511
	住宅新築資金等貸付事業	2,450	2,438	12
	農業集落排水事業	114,291	114,175	116
	漁業集落排水事業	3,836	3,781	55
	下水道事業	440,469	429,747	10,722
	土地開発事業	5,157	1,366	3,791
事業会計	公共用地先行取得事業	529	529	0
	病院事業	124,863	136,635	△11,772
	水道事業	96,230	84,351	11,879

※事業会計については収益的収入及び収益的支出を計上

歳入140億7,397万円



歳出136億4,805万円



平成19年度の普通会計の決算額は、歳入が140億7、397万円に対し、歳出が136億4、805万円です。平成20年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた3億8、722

万円が実質的な黒字となりました。しかしながら、臨時財政対策債や各種建設事業の財源など借金である市債を10億9、163万円借り入れてあります。また、地方交付税の減額などを補うため、市の貯金である財政調整基金を3億5、923万円取り崩すなど、財政状況は引き続き厳しい状況にあります。